

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年5月26日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	18310
政策名 (章)	第8章 国際平和と人権が尊重される社会を実現します	評価担当課	企画部 ▼
基本施策名 (節名)	第3節 男女共同参画社会づくりの推進		男女共同参画課
施策名	男女平等意識の醸成	課長名	江成朱美

1 施策の概要・目的

男女の人権が平等に尊重され、個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会をめざし、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣行等の見直しに向けた様々な意識啓発に努めるとともに、男女平等教育を推進する。

2 施策の現状

「女と男のいきいきフォーラム」の開催や情報誌「と・も・こ」の発行等を通じ、普及・啓発を行っている。施策の実施にあたっては、男女共同参画推進員の参画を得るなど、市民参加の充実に努めている。より実効性ある取り組みを進めるため、現在、男女共同参画に関する条例の制定作業を進めている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

4,290 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

7 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 118 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.16 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値		目標
			現状	目標	目標年度
指標1	事業への参加率 参加者数÷募集定員×100	より多くの人に気づきの機会を提供するため、内容・周知を工夫する。	63 % 単位	0 50 100	目標年度
			90 % 単位	達成度	16
指標2	男女平等意識度 男女平等と思っている市民の割合 (市民意識調査より)	市民の男女平等感を高める。「社会通念、風潮で」を採用)	17 % 単位	0 50 100	目標年度
			80 % 単位	達成度	19
指標3			現状	0 50 100	目標年度
			目標	達成度	21%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

男女共同参画社会の実現に向けて、様々な意識啓発事業を実施することは重要な課題であると考えているが、現在は興味・関心のある方の参加が中心である。市民に広く普及・啓発をするためには、関心のない方や男性、事業所関係等への啓発方法など、効果的な事業展開を工夫する必要がある。

6 有効性…期待される効果があがっているか

男女共同参画社会基本法の施行を契機に、国としての取り組みソレイユさがみでの啓発事業を含め、事業への参加率は少しずつ高まってきているが、広く市民の暮らしや意識に浸透しているとはいえないのが現状である。より効果的な事業展開を工夫する必要がある。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

男女平等意識の醸成のためには、情報誌や啓発誌の内容や配付対象・方法、講座等の周知方法など、より効果的な手法を検討する必要がある。

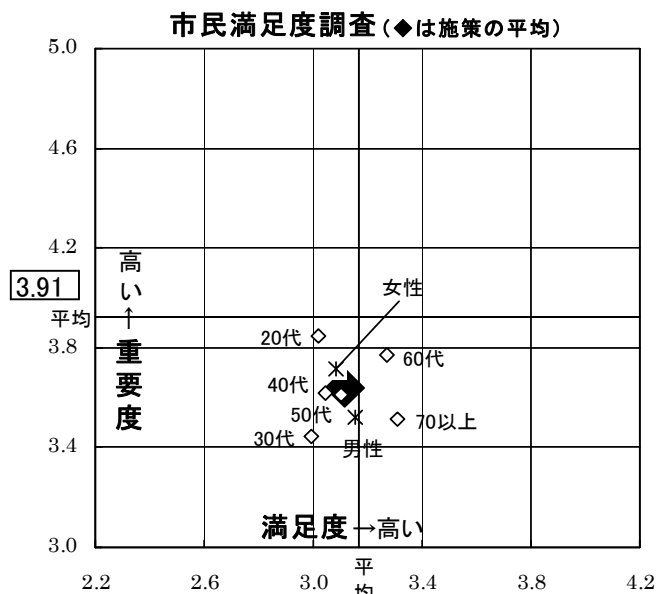
8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.116で、調査した51施策の中で34番目です。

◆この施策の重要度は、3.636で、調査した51施策の中で42番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.368で、調査した51施策の中で36番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳以上で高く、他の年代はほぼ同じ水準になっています。重要度は20歳代及び60歳代で高く、30歳代及び70歳以上で低くなっています。



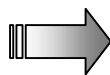
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

男女平等意識の醸成のためには、市民、事業者との協働が重要であり、現在制定作業を進めている条例を推進することにより、実効性ある取り組みが可能となる。この条例を市民に浸透させることが大きな課題である。また、市の施策全般に男女共同参画の視点を取り入れるため、市職員の意識啓発も充実する必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

事業への参加を呼びかけるだけでなく、事業所や地域等へ出張講座や、人材育成を通じて地域への拡がりを図るなど、現在の手法を見直しながら、効果的な事業展開を検討する。

11 2次評価

説明
<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

男女共同参画社会の実現にむけて、普及啓発活動の強化など更なる取り組みを進めること。

12 外部意見

説明

市民満足度調査結果では、男女間の比較で女性の満足度が低く、また、男性の重要度が低いことから、男女共同参画社会の実現を目指し、効果的な事業展開を行うべきである。

